

11月25日正午必着

明石春浦先生書



半山残月露華冷

兩岸野風蓮萼香（韋莊）

残月は冷かに蓮は香を放っている。

明石幸子書



住の江の岸に寄る波よるさへや夢の通ひ路人目よくらむ

（藤原敏行朝臣）

（住の江の岸に寄る波）夜までも、夢はそのかよってゆく路で、昼間とおなじように、人目を避けているのだろうか。

城雲白欲曙 沙月上猶殘
 獨步憐紅葉 空庭玉露團

城雲白欲曙 沙月上猶殘
 獨步憐紅葉 空庭玉露團

(李夢陽)

城にかかった雲が白くなって夜が明けようとしているが、砂浜にはまだ月が残っている。独り散歩して紅葉を眺めていると、静かな庭に玉のようにまろく美しい露がたまっている。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

雲 淨 天 高 (虞世南)

雲 淨 天 高 し

詩に云う「雲既淨而天高」と。

雨 意 欲 晴 山 鳥 樂
 寒 聲 初 到 井 梧 知 (黃公度)

雨意晴れんと欲して山鳥樂しみ
 寒聲初めて到り井梧知る

秋日の天候のことである。

送 耿 處 士 (賈 島)

耿 處 士 を 送 る 賈 島

一 瓶 離 別 酒 未 盡 卽 言 行
 萬 水 千 山 路 孤 舟 幾 日 程
 川 原 秋 色 盡 蘆 葦 晚 風 鳴
 迢 遞 不 歸 客 人 傳 虛 隱 名

一瓶 離別の酒 未だ尽くさざるに即ち行かんことを言う
 万水千山の路 孤舟幾日の程
 川原 秋色尽き 蘆葦 晚風鳴る
 迢遞たり 不帰の客 人は伝う 虚隱の名

妻とふたり 拓く畑の 新土を 鳴らすごとく 秋風きたる

(鹿兒島壽藏)

半紙部規定課題A

11月25日正午必着

江
日
暖
魚

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(五体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。



草書



行書

11月25日正午必着



隸書



行草書



篆書

送曹椅一 司空曙

青春三十餘

衆藝盡無如

中散詩傳畫

將軍扇賣書

楚田晴下雁

江日暖多魚

惆悵空相送

歡遊自此疎

曹椅を送る

司空曙

青春三十餘

衆芸 尽く如く無し

中散の詩は画を伝え

將軍の扇は書を売る

楚田 晴れて雁を下し

江日 暖かくして魚多し

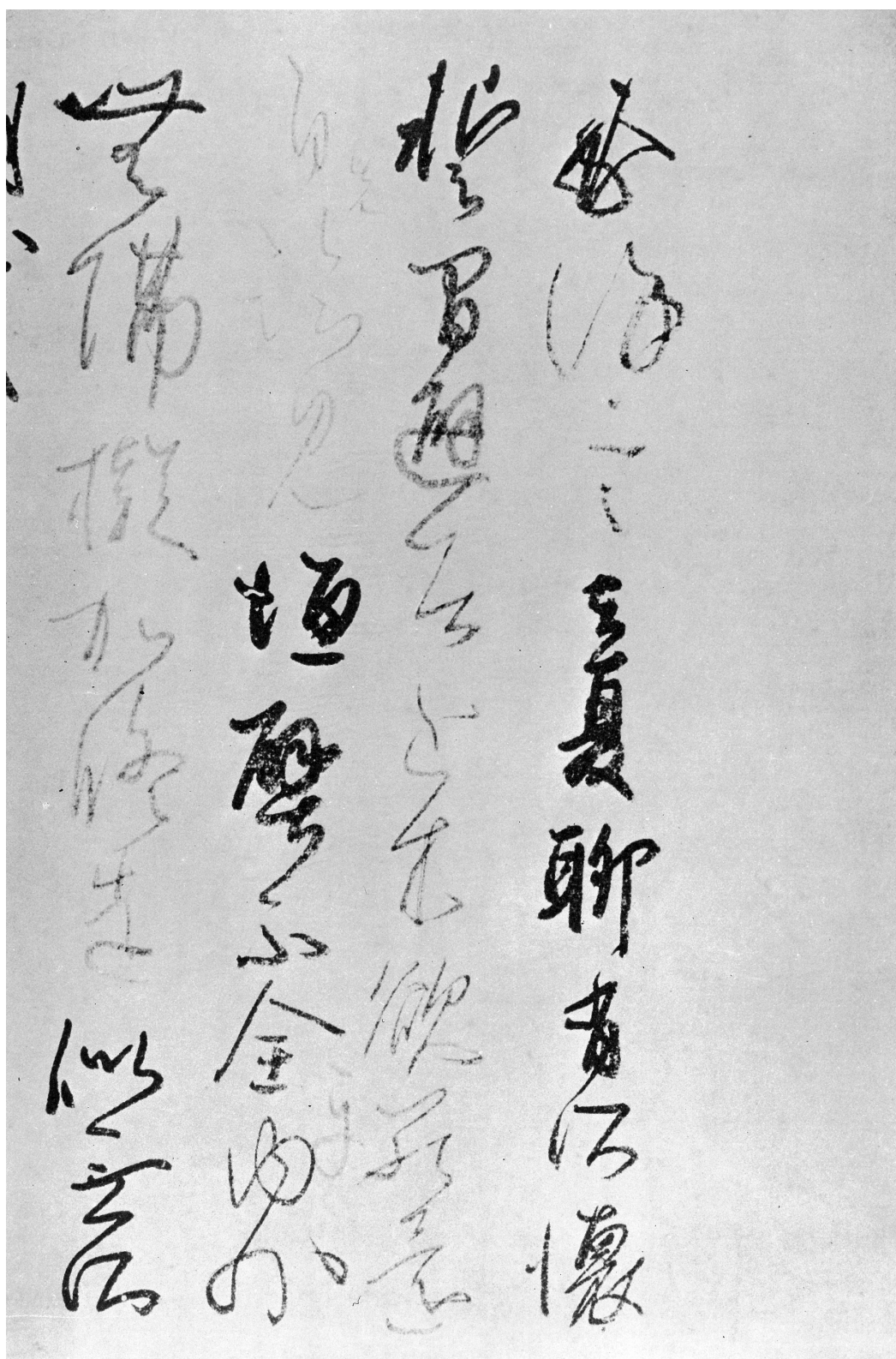
惆悵として 空しく相送る

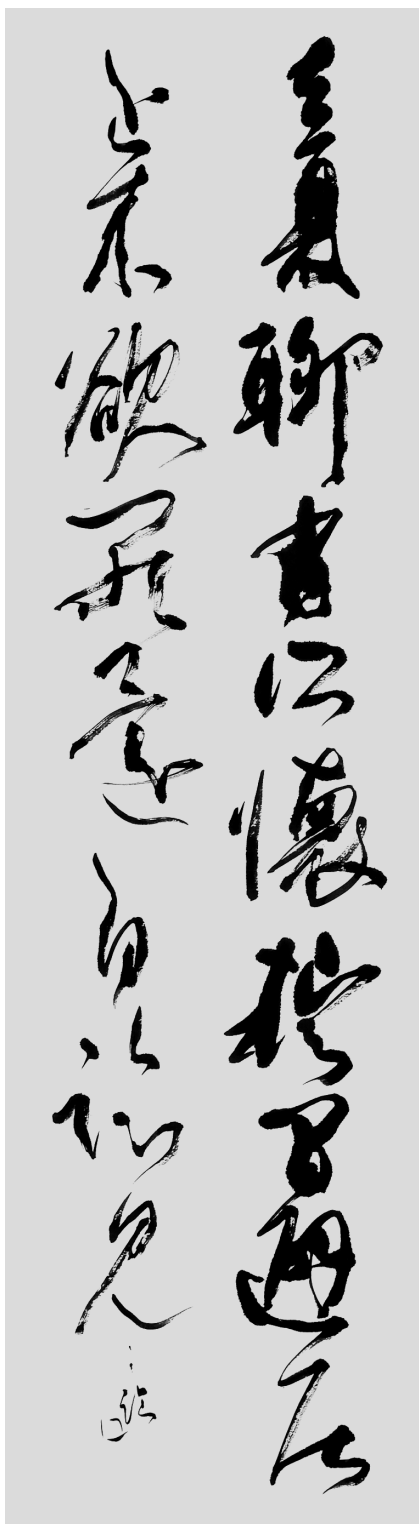
歡遊 此れ自り疎ならん

齡三十余りの若さを以て 諸芸はみな及ぶものがない
嵇康のごとく、その詩は絵画に描かれて伝えられ 王羲之のごとく、扇に書かれた文字が売られる
楚の地の田野は晴れわたって雁が下りたち 江のほとりに日は暖かく、魚が数多く泳いでいる
悲しみ嘆きつつ、さびしく君を送る これからは楽しく遊ぶことはめったになかろう

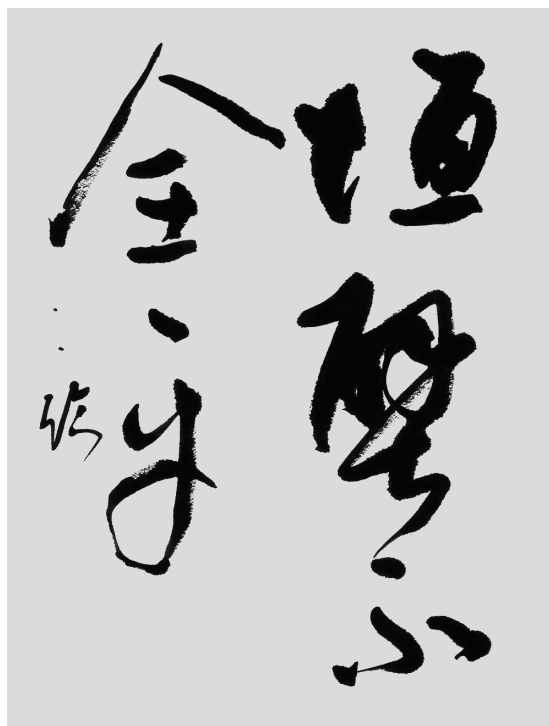
11月25日正午必着

(草名) 謹言。去夏聊有所懷。暫間避居。近來欲罷還。自先臨見。垣壁不全乎。内外無隔。擬加修造。似無所(期)。
 謹みて言す。去夏聊か懷う所有り。暫くの間避居し、近來罷還らんと欲し、自らまず臨見するに、垣壁全からず。互に内外隔て無し。修造を加えんと擬するに、
 期する所無きに似たり。





去夏聊か懐う所有り。暫くの間避居し、近来罷還らんと欲し、自らまず臨見するに、



垣壁全からず。

平安 去夏帖・藤原佐理

藤原佐理（天慶七年～長徳四年・九四四年～九九八年）は藤原鎌足十二世の子孫で、摂政太政大臣藤原実頼の孫という名門に生まれながら、父の早逝と祖父の死により、最終官位は正三位にとどまった。しかし、佐理は権力には無関心で、その仕事ぶりも適当でわがままであつたらしい。

ところが、書においてはその能書ぶりは有名で当代随一の名手と認められ昇進していったのである。（小野道風・藤原行成と共に三跡のひとりで「さり」とも称される）

この去夏帖は丹波守為雅に宛てた書状で、自分の屋敷の垣根の修造に関して提出した陳情書とされている。

文末に向うに従って細い線となり、渴筆も多く、直線的な筆の運びが目立つ。佐理四十歳の筆。（春濤）

藉甚無竟學優登
仕攝職從政存以
甘棠去而益詠

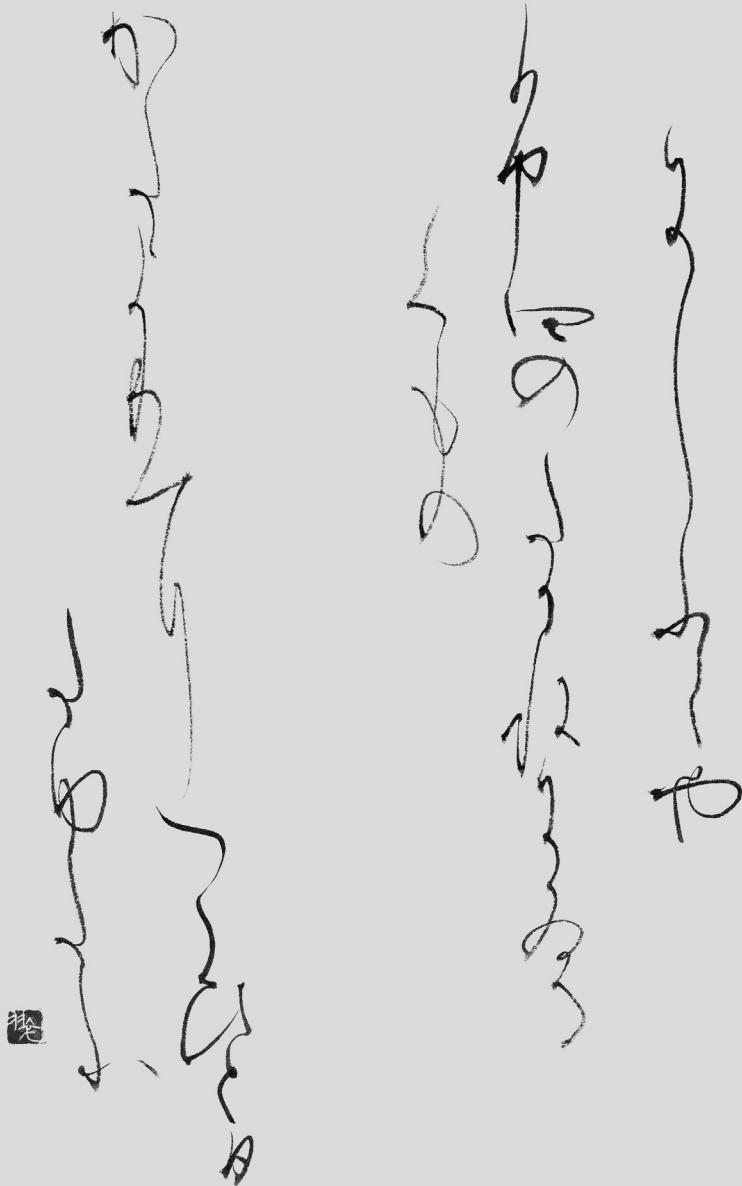
。。
寫□

玄和細字用紙

※用紙サイズ：半紙 $\frac{1}{2}$ タテ書き（毛筆）・玄和細字用紙（25枚綴り ¥550 | 税込、送料別）

西 墨濤先生書

尔にしふくや
布四ふじのたかねに
多可ぬるくもの
尔為かたよりにつゝ
多利耳ひと日たゆたふ
多（島木赤彦）



松永翠舟先生書

11月25日正午必着

教育部毛筆



雨宮春聲先生書

えど ひゃっけい
江戸百景

中学一年



菅井松雲先生書

そう り だい じん
総理大臣

中学二三年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



みの 実^{あき}りの秋

小学五年

榎戸春龍先生書



むし せ かい
虫の世界

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

11月25日正午必着



藤田幸春先生書

もち
用 い る

小学三年



細谷春誠先生書

かんが
考 え る

小学四年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

よ こ 小学一年・幼年



森戸春濤書

ね ん 土 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

11月25日正午必着

教育部硬筆

ペン字部

本を読んで心を動か
される時があります

小学五年

山頂に近づくと森は消
え風景はいつペンする

小学六年

ふたりを乗せた舟は
湖水を静かに進んだ

中学

どんな時もあるたのそばで
咲く一輪の花でありたい

一般(級位)

今来むと言ひしばかりに 長月の 有明の月を 待ち出でつるかな (百人一首・素性法師)

今来むと言ひしばかりに 長月
の有明の月を待ち出でつるかな

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

の	幸
ク	福
ロ	を
ー	よ
バ	ぶ
ー	四
で	つ
す	葉

小学四年

七	白
人	ゆ
の	き
小	ひ
人	め
た	と
ち	

小学三年

竹	か
か	く
ら	や
生	ひ
ま	め
れ	は
た	

小学二年

ね	た
	い
村	こ
ま	と
つ	ふ
り	え
	の

小学一年

か	す
わ	ず
い	を
い	つ
こ	け
ね	た
こ	

幼年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。